



なまめか
「優美し、紫銘仙の誘惑」キモノ展（前期）

～雅やかで奥ゆかしい紫いろのきもの～を開催します！

【strong point/ここが言いたい！】

令和6年5月に、市内番場町の買継商通りにある古民家《よりどころ》で開催した「秩父銘仙の紫展」が好評だったため、同展で展示した着物をベースに、今回の展示に合わせて新たな銘仙の着物を加え、装いも新たに紫色に着目した企画展を開催します。

古来高貴さの象徴とされた紫色は、貝紫や紫根などの貴重な天然染料を用いて染色されてきました。幕末・明治維新以降は化学染料の流入により、簡単に色鮮やかな紫色を得られる染料が庶民の間にも流通するなど、多くの銘仙が紫色に染められることとなります。

昭和の時代を通じ、銘仙を染め上げてきた紫色のさまざまな着物から、奥ゆかしく雅やかで、優美な紫色がいかに庶民を魅了したのかを感じていただける展示となっています。

●日時：3月23日（日）～4月12日（土）いずれも午前9時～午後4時まで

●場所：ちちぶ銘仙館ギャラリー（入館料：一般210円、小中学生100円）



篠原隊員Instagram

【next plan/今後の事業展開】

詳細は篠原隊員のInstagram等で発信しています。

5月17日（土）から6月28日（土）まで、同内容で後期展示も企画しています。

産業観光部産業支援課

担当者：堀口、篠原

☎：0494-25-5208

FAX：0494-25-0136



秩父市イメージキャラクター

ポテくまんと のめるちゃん